

特別支援教室(わかたけルーム)とは・・・

在籍している通常学級から、校内に設置されたわかたけルーム(特別支援教室)で、週に1回、自分の課題に合った学習に取り組んだり、支援を受けたりします。

教員が各校巡回し指導を行っています。巡回指導教員は、拠点とする学校(拠点校:八坂小)から各小学校(巡回校:橋戸小・豊溪小・泉新小)に出向き指導を行います。

＊教員配置は、巡回指導教員(複数)と特別支援教室専門員(各校1名)です。

○特別支援教室には、このような子供たちが通っています

- ◆よりよいコミュニケーションをとるための支援が必要な児童
- ◆相手の立場になって考えられるようになるために支援が必要な児童

- ◆集中し続けるための支援が必要な児童
- ◆授業中に席を離れてしまったり、質問が終わらないうちに答えてしまったりするなど、他の児童と同じペースで学習することが難しい児童

知的な遅れはないのに、

- ◆音読・書字・計算の支援が必要な児童
- ◆聞いたことを覚えておくための支援が必要な児童

○特別支援教室での学びとは・・・

○週1回、小集団学習(1時間)と個別学習(1時間)を取り入れ、児童の状態に応じて行う「特別の指導(日常生活や学習場面での困難を改善・克服することを目的とした指導)」を行っています。

指導内容は、「自立活動」を行っています。

「特別の指導」とは

- ◆ロールプレイなどを通じて、適切な会話ができるようになるための学び
- ◆提示する情報量を調節しながら、必要な情報を見分けたり、聞き分けたりする力を高めるための学び
- ◆ソーシャルスキルトレーニングを通して、順番に人の話を聞くなど、ルールを守って行動できるようにするための学び
- ◆自分に合った学習方法を習得し、その方法を取り入れて、学習ができるようになるための学び など

●わかたけルームについて何かご不明点、ご質問等ありましたら、お気軽にご相談ください。